

2022年3月期 決算説明資料

2022年5月12日

株式会社コスモスイニシア

証券コード：8844（東証スタンダード）

■ 2022年3月期 業績概要

- 売上高1,073億円、営業利益34億円 前期比増収・営業増益
- 2021年11月公表の業績予想比で減収となった一方で、売上総利益率の改善、販売費及び一般管理費の減少により営業増益

■ 2023年3月期 業績予想

- 売上高1,250億円、営業利益35億円 前期比増収・営業増益の見通し
- 業績予想は、宿泊事業は感染症影響の収束が進み、期末には感染症影響以前の稼働水準に近づくと的前提、宿泊事業以外の感染症影響は限定的と的前提で算定
※業績予想算定的前提は、セグメント情報（P24）に詳述

（※同日に「中期経営計画2026」を発表しておりますので、合わせてご参照ください）

中期経営計画2021	P. 3
2022年3月期 業績概要	P. 6
2023年3月期 業績予想	P. 11
セグメント情報	P. 14
トピックス	P. 25

A modern, bright living and dining area. The living room features a light-colored sofa, a low coffee table with a laptop and books, and a large window with a view of greenery. The dining area has a grey table with a white tablecloth, set with plates, glasses, and a vase of flowers. The ceiling is equipped with track lighting and a large, textured pendant light. The overall aesthetic is clean, minimalist, and airy.

中期経営計画2021

【Mission（存在意義）】

Next GOOD

お客さまへ。社会へ。一步先の発想で、一步先の価値を。

【事業ドメイン】

都市環境のプロデュース

CSVテーマ

「一步先の発想」で実現する
6つのNext

- 安心のNext
- 快適のNext
- 持続のNext
- 独創のNext
- 環境のNext
- 公正・公平のNext

中長期経営方針 ～さらなる飛躍をめざし 新たなステージへ～

社会的価値創出への挑戦

すべての経営活動における
CSVの実践
～SDGs/ESGを意識した経営～

事業創造・革新への挑戦

社会の変化とニーズの多様化に応える
都市環境のプロデュース

株主価値の向上

財務基盤のさらなる強化とともに
株主還元向上を追求

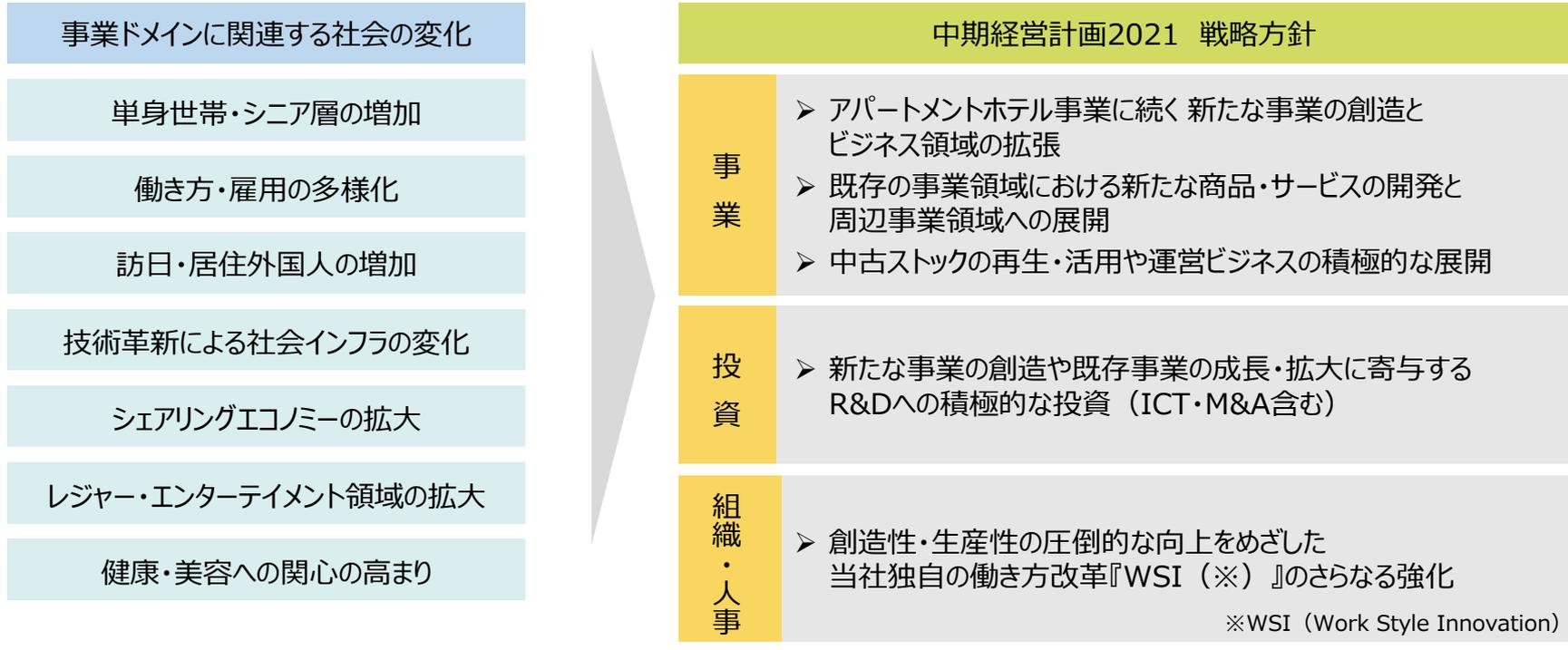
※CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）

- 中期経営計画2021計画期間中の戦略方針に、新型コロナウイルス影響による住まい方・働き方等の価値観の大きな変容への対応というテーマを加えた上で継続する方針

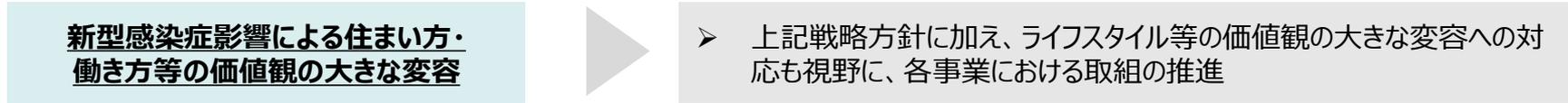
中期経営計画2021 再掲

■ 中長期経営方針への取り組み

- ・ 社会的価値創出への挑戦 全ての経営活動におけるCSVの実践 ～SDGs/ESGを意識した経営～
- ・ 事業創造・革新への挑戦 事業/投資/組織・人事戦略を統合的に展開
- ・ 株主価値の向上 事業拡大・積極的な投資と同時に財務基盤のさらなる強化をめざす
1株当たり配当金の持続的な増加をめざす



+





2022年3月期 業績概要

- 売上高1,073億円、営業利益34億円 前期比増収・営業増益
- 2021年11月公表の業績予想比で減収となった一方で、売上総利益率の改善、販売費及び一般管理費の減少により営業増益
- 期末配当金 1株当たり7円を予定（期初公表の配当予想から変更なし）

（単位：百万円）	2021/3期	2022/3期	増減	2022/3期 業績予想(※)
売上高	107,257	107,349	92	115,000
売上総利益	15,604	17,425	1,821	17,800
販売費及び一般管理費	13,228	14,073	845	14,800
営業利益	2,376	3,351	975	3,000
経常利益	2,207	2,610	403	2,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,007	1,703	△303	1,800
1株当たり当期純利益	59.25円	50.29円	△8.97円	53.12円
1株当たり年間配当金	7円	7円	-円	7円

(※2021年11月公表 業績予想)

- レジデンシャル事業・ソリューション事業ともに売上総利益率の改善等により前期比営業増益
- 宿泊事業は、ホテル施設運営において感染症影響が継続した一方、前期に見合わせたホテル施設販売の引渡があったこと等により前期比増収・営業増益
- 工事事業は、前期に収益性の高い大型案件があったことの反動、および新規案件の受注遅れにより、前期比減収・営業減益

(単位：百万円)	2021/3期		2022/3期		2022/3期 業績予想(※)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
レジデンシャル事業	40,700	1,321	41,844	1,822	45,600	2,300
ソリューション事業	52,350	5,174	50,477	5,580	52,700	5,000
宿泊事業	593	△3,017	6,356	△2,061	6,300	△2,300
工事事業	14,083	744	9,459	73	11,000	0
連結消去等	△470	△1,846	△787	△2,063	△600	△2,000
合計	107,257	2,376	107,349	3,351	115,000	3,000

(※2021年11月公表 業績予想)

2022年3月期 連結貸借対照表

- 棚卸資産に対するプロジェクト借入が進捗したことにより、借入金が増加
- 純資産の増加により、自己資本比率が改善

(単位：百万円)	2021/3期	2022/3期	増減
総資産	143,513	145,210	1,697
（棚卸資産（※））	95,832	97,998	2,166
負債	108,531	108,603	71
（借入金）	69,485	81,533	12,048
純資産	34,981	36,607	1,626
自己資本比率	24.0%	24.8%	0.8pt
ネット有利子負債（百万円）	42,520	51,390	8,870
ネットD/Eレシオ	1.2倍	1.4倍	0.2Pt

（※その他流動資産（前渡金）を含む）

<棚卸資産の売上高想定内訳>

	戸数	売上高相当額 (百万円)	戸数	売上高相当額 (百万円)
新築マンション・一戸建	1,893戸	92,200	1,991戸	94,400
リノベーションマンション	444戸	18,200	341戸	15,900
収益不動産等	—	42,900	—	47,300
ホテル	—	38,400	—	24,100
合計	—	191,700	—	181,700

2022年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

Cosmos Initia

- 営業キャッシュ・フロー 仕入を厳選し在庫の販売を促進した前期に比べ、棚卸資産が増加したこと等により資金減少
- 財務キャッシュ・フロー 借入金が増加等による資金増加
- 現金及び現金同等物の期末残高は前期比18.6億円増加

(単位：百万円)	2021/3期	2022/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,025	△10,547
税金等調整前当期純利益	2,129	2,518
棚卸資産の増減額（△は増加）（※）	11,624	△2,122
仕入債務の増減額（△は減少）	2,698	△5,255
預り金の増減額（△は減少）	4,194	△4,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△424	△745
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,084	13,093
借入金が増減額（△は減少）	△8,939	11,994
債権流動化債務の増減額（△は減少）	300	-
不動産特定共同事業出資受入金の増減額（△は減少）	△1,521	1,310
配当金の支払額	△271	△237
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	64
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,555	1,863
現金及び現金同等物の期首残高	21,630	31,186
現金及び現金同等物の期末残高	31,186	33,049

（※その他流動資産（前渡金）の増減を含む） 10

A modern office interior featuring a staircase with a white metal railing and a wooden desk in the background. The space is bright and airy, with large windows on the left and several potted plants. The ceiling has recessed lighting. The overall aesthetic is clean and professional.

2023年3月期 業績予想

2023年3月期 業績予想 ～連結損益計算書～

- 売上高1,250億円、営業利益35億円 前期比増収・増益の見通し
- 期末配当金 1株当たり9円の配当見通し（前期比2円増）

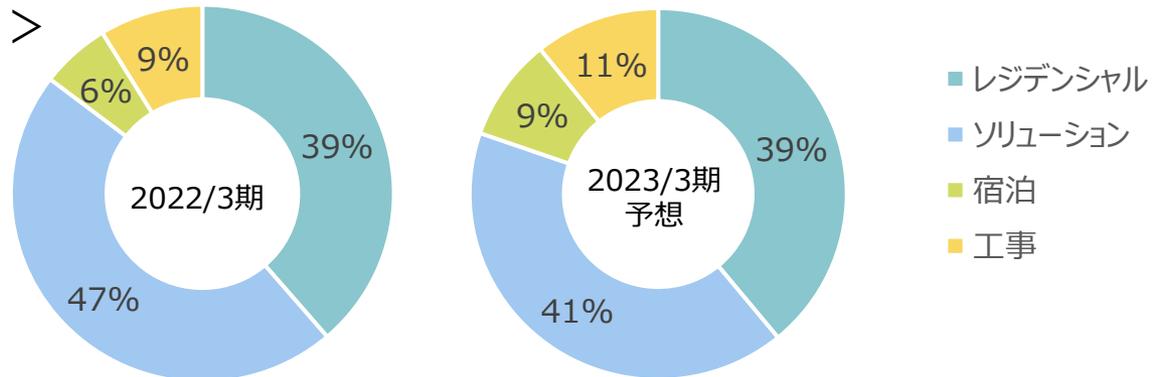
(単位：百万円)	2022/3期	2023/3期 予想	増減
売上高	107,349	125,000	17,650
売上総利益	17,425	19,600	2,174
販売費及び一般管理費	14,073	16,100	2,026
営業利益	3,351	3,500	148
経常利益	2,610	3,200	589
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,703	2,200	496
1株当たり当期純利益	50.29円	64.93円	14.64円
1株当たり年間配当金	7円	9円	2円

2023年3月期 業績予想 ～報告セグメント～

- ソリューション事業は、前期比増収の一方で、前期に収益性の高い物件があった反動により前期比営業減益の見通し
- その他のセグメントは、前期比増収・営業増益の見通し

(単位：百万円)	2022/3期		2023/3期 予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
レジデンシャル事業	41,844	1,822	49,000	2,800	7,155	977
ソリューション事業	50,477	5,580	51,800	4,400	1,322	△1,180
宿泊事業	6,356	△2,061	11,200	△2,000	4,843	61
工事事業	9,459	73	13,500	500	4,040	426
連結消去等	△787	△2,063	△500	△2,200	287	△136
合計	107,349	3,351	125,000	3,500	17,650	148

<売上高構成比 (連結消去等除く) >



A modern hotel room with a high ceiling and a large circular light fixture. The room features two beds with white linens and dark accents, a dining table set for two with white plates and dark bowls, and a large window. The room is furnished with a grey sofa and a wooden coffee table. The overall design is clean and contemporary.

セグメント情報

- 宿泊事業における開示情報の拡充と、全体の事業内容の明確化を目的に、下表のとおり、報告セグメント内の名称・区分を一部変更しております。

※2022年3月期以前の報告セグメント情報について、本資料は変更後の名称・区分にて開示、同日発表の2022年3月期決算短信は変更前の名称・区分にて開示をしております。

変更前	変更後	【備考】
レジデンシャル事業	レジデンシャル事業	
新築マンション	新築マンション・一戸建販売	・新築マンション・一戸建を統合
新築一戸建		
リノベーションマンション等	リノベーションマンション販売	・名称を変更
不動産仲介その他	その他（不動産仲介・海外事業等）	・名称を変更
ソリューション事業	ソリューション事業	
投資用不動産等	収益不動産等販売	・名称を変更
不動産賃貸管理等	不動産賃貸管理・運営	・名称を変更
不動産仲介その他	その他（不動産仲介等）	・名称を変更
宿泊事業	宿泊事業	・施設販売と同運営を区分
	ホテル施設販売	
	ホテル施設運営	
工事事業	工事事業	

レジデンシャル事業

これからの社会に求められる価値を創造し、心ときめく日々・暮らしを実現する住まいを提供します。

新築マンション・一戸建販売



リノベーションマンション販売



その他（不動産仲介・海外事業等）



ソリューション事業

収益不動産の販売・賃貸管理、土地の有効活用、設計・建築コンサルティングなどのソリューションを提供します。

収益不動産等販売



不動産賃貸管理・運営



その他（不動産仲介等）



宿泊事業

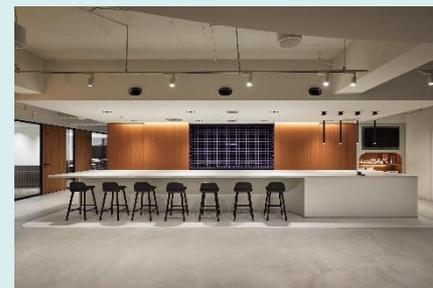
全室キッチン・ダイニング付きで、中長期滞在ニーズに対応する都市型アパートメントホテル「MIMARU」の開発・運営をはじめ、アウトドアリゾート「ETOWA」の企画・運営を行っています。

ホテル施設販売、ホテル施設運営



工事業業

デザイン設計・施工を通じて、関わる人の「心を動かす」住環境・オフィス環境を提供します。



- 2022/3期 リノベーションマンション販売の増加により前期比増収、売上総利益率の改善により前期比営業増益
- 2023/3期 予想 リノベーションマンション販売の増加、および海外事業として豪州での分譲住宅の引渡を計画していること等により前期比増収・営業増益

＜新型コロナウイルスによる影響＞

アクティブシニア向け分譲マンションの販売進捗には一部影響があるものの、全体としては限定的であり、住宅購入に対する需要は堅調に推移するとの前提で業績予想を算定

(単位：百万円)	2021/3期	2022/3期	増減	2023/3期 予想
売上高	40,700	41,844	1,144	49,000
新築マンション・一戸建販売 (※1)	28,700	25,356	△3,343	22,200
リノベーションマンション販売 (※2)	11,248	15,779	4,531	16,900
その他(不動産仲介・海外事業等) (※3)	751	707	△43	9,900
営業利益	1,321	1,822	501	2,800

(※1 新築マンション・一戸建販売には、新築マンション、新築一戸建の他、新築タウンハウス、宅地分譲を含む)

(※2 リノベーションマンション販売には、物件保有期間中の賃貸収入を含む)

(※3 その他(不動産仲介・海外事業等)には豪州での分譲住宅開発事業を含む)



新築マンション『イニシア青砥レジデンス』



新築一戸建『イニシアフォーラム光が丘公園』



リノベーションマンション『湘南タワーズ』

- 2022/3期 リノベーションマンションの引渡数が前期比増加、新築マンションの売上総利益率が前期比改善した一方、感染症影響によりアクティブシニア向け分譲マンションの販売遅延があったこと等により新築マンションの完成在庫が前期比増加
- 2023/3期 予想 全体の売上総利益率が前期比改善

<引渡数・売上高・売上総利益率>

	2021/3期			2022/3期			2023/3期 予想		
	引渡数	売上高 (百万円)	売上 総利益率 (※2)	引渡数	売上高 (百万円)	売上 総利益率 (※2)	引渡数	売上高 (百万円)	売上 総利益率 (※2)
新築マンション (※1)	455戸	20,779	17.8%	453戸	23,088	18.9%	434戸	20,400	21.2%
リノベーション マンション	232戸	10,474	14.0%	355戸	15,195	13.1%	332戸	16,500	15.2%

<契約進捗率> 次期業績予想に対する期末時点の販売進捗

	2021/3月末		2022/3月末	
	契約済	進捗率	契約済	進捗率
新築マンション (※1)	124戸	22.9%	76戸	17.5%
リノベーション マンション	17戸	5.7%	10戸	3.0%

<完成在庫>

	2021/3月末	2022/3月末
新築マンション (※1、3)	135戸	345戸
(うち未契約)	(105戸)	(332戸)

(※1 新築マンションには新築マンションの他、新築タウンハウスを含む)
 (※2 棚卸資産評価損を含まない)
 (※3 うちアクティブシニア向け分譲マンションは2021/3月末 0戸、2022/3月末 202戸)

- 2022/3期 収益不動産等販売の減少により前期比減収の一方、売上総利益率の改善等により前期比営業増益
- 2023/3期 予想 収益不動産等販売の増加により前期比増収の一方、売上総利益率の反動減等により前期比営業減益
 <新型コロナウイルスによる影響>
 稼働状況等に現状より著しい悪化は生じず、収益不動産に対する需要は堅調に推移するとの前提で業績予想を算定

(単位：百万円)	2021/3期	2022/3期	増減	2023/3期 予想
売上高	52,350	50,477	△1,873	51,800
収益不動産等販売 (※)	35,747	34,204	△1,542	35,500
不動産賃貸管理・運営	15,845	15,818	△27	15,900
その他(不動産仲介等)	758	454	△303	400
営業利益	5,174	5,580	406	4,400

(※収益不動産等販売には、一棟物件、共同出資型不動産、賃料収入、土地売却等を含む)



収益不動産『コスモグラシア川崎』



収益不動産『クロスシー豊洲ビル』



不動産賃貸管理『MID POINT大森』

- 2022/3期 収益不動産等販売(一棟物件)の売上総利益率、および不動産賃貸管理・運営(住宅サブリース)の空室率が前期比改善
- 2023/3期 予想 収益不動産等販売(一棟物件)の引渡数増加の一方、前期に収益性の高い物件があったことの反動等により売上総利益率は低下

<引渡数・売上高・売上総利益率>

	2021/3期			2022/3期			2023/3期 予想		
	引渡数	売上高 (百万円)	売上 総利益率 (※)	引渡数	売上高 (百万円)	売上 総利益率 (※)	引渡数	売上高 (百万円)	売上 総利益率 (※)
収益不動産等販売 (うち一棟物件)	21棟	30,885	13.8%	13棟	24,896	16.8%	22棟	33,300	12.8%

(※棚卸資産評価損を含まない)

<契約進捗率> 次期業績予想に対する期末時点の販売進捗

	2021/3月末		2022/3月末	
	契約済 (百万円)	進捗率	契約済 (百万円)	進捗率
収益不動産等販売 (うち一棟物件)	7,518	39.0%	—	—

<不動産賃貸管理・運営(うち住宅サブリース)受託戸数・空室率>

	2021/3月末		2022/3月末	
	受託戸数	空室率	受託戸数	空室率
住宅サブリース	10,226戸	4.0%	9,951戸	3.0%

- 2022/3期 年間を通して感染症影響により稼働が低迷した一方で、前期に見合わせていたホテル施設の引渡があったこと等により前期比増収・営業増益
- 2023/3期 予想 ホテル施設の新規開業に伴う費用増加の一方で、稼働の回復、およびホテル施設の引渡数の増加を計画していることから前期比増収・営業増益
 <新型コロナウイルスによる影響>
 感染症影響の収束が進み、期末には感染症影響以前の稼働水準に近づくとこの前提で業績予想を算定

(単位：百万円)	2021/3期	2022/3期	増減	2023/3期 予想
売上高	593	6,356	5,763	11,200
ホテル施設販売	—	5,300	5,300	6,000
ホテル施設運営	593	1,056	463	5,200
営業利益	△3,017	△2,061	956	△2,000



『MIMARU東京 浅草STATION』



『MIMARU大阪 心齋橋WEST』



『MIMARU SUITES 京都四条』

- 2022/3期 GoToキャンペーンの影響等により一時稼働が回復した前期に対し、年間を通して感染症影響により稼働が低迷
- 2023/3期 予想 感染症影響の収束が進み、期末には感染症影響以前の稼働水準に近づくとこの前提のもと、期中にすべての未開業施設の開業を予定

＜アパートメントホテル施設数＞

	2021/3期末		2022/3期末		2023/3期末 予想	
開業前	14施設	770室	9施設	545室	0施設	0室
開業済	16施設	800室	19施設	925室	28施設	1,470室
(うち休業中)	(4施設)	(245室)	(2施設)	(132室)	(1施設)	(36室)
合計	30施設	1,570室	28施設	1,470室	28施設	1,470室

＜アパートメントホテル運営状況＞

	2021/3期	2022/3期	2023/3期 予想
平均稼働率	24.6%	15.4%	43.1%
平均客室単価	15千円	19千円	27千円
平均滞在日数	3.8日	3.2日	2.9日

(休業中施設を除く販売可能客室数にて算出)

- 2022/3期 前期に収益性の高い大型案件があったことの反動、および緊急事態宣言下における受注機会の減少等により前期比減収・営業減益
- 2023/3期 予想 受注環境の回復を見込み、前期比増収・営業増益の見通し
 <新型コロナウイルスによる影響>
 2022/3期に生じた緊急事態宣言下における受注機会の減少は一時的なものであり、受注環境は回復するとの前提で業績予想を算定

(単位：百万円)	2021/3期	2022/3期	増減	2023/3期 通期予想
売上高	14,083	9,459	△4,624	13,500
営業利益	744	73	△670	500



設計・施工事例
 (日経メディアマーケティング株式会社 本社)



設計・施工事例
 (三菱地所リアルエステートサービス株式会社
 (仮称) 玉川3丁目新築工事)



設計・施工事例
 (大和ライフネクスト株式会社 虎ノ門オフィス)

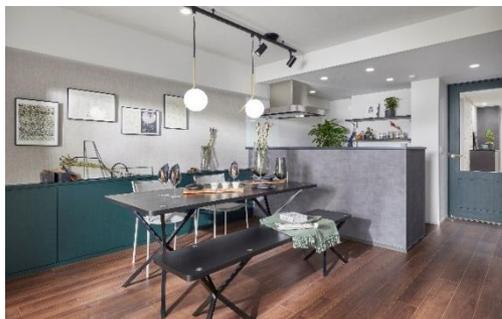
セグメント	2022/3期 業績への影響（実績）	2023/3期 通期業績予想の前提
レジデンシャル事業	<ul style="list-style-type: none"> アクティブシニア向け分譲マンションの販売進捗には一部影響があったものの、全体としては限定的であり、住宅購入に対する需要は堅調に推移 	<ul style="list-style-type: none"> アクティブシニア向け分譲マンションの販売進捗には一部影響があるものの、全体としては限定的であり、住宅購入に対する需要は堅調に推移するとの前提で業績予想を算定
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 感染症影響は限定的で、収益不動産に対する需要は堅調に推移 	<ul style="list-style-type: none"> 稼働状況等に現状より著しい悪化は生じず、収益不動産に対する需要は堅調に推移するとの前提で業績予想を算定
宿泊事業	<ul style="list-style-type: none"> 感染症影響により年間を通じて稼働が低迷 一方で、2021年11月公表の業績予想の通り、ホテル施設2棟の販売を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症影響の収束が進み、期末には感染症影響以前の稼働水準に近づくとの前提で業績予想を算定
工事事業	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言下における受注機会の減少を背景とした受注遅れが生じた 	<ul style="list-style-type: none"> 2022/3期に生じた緊急事態宣言下における受注機会の減少は一時的なものであり、受注環境は回復するとの前提で業績予想を算定



トピックス

■ 新築マンションの住空間デザインに新たな3つのスタイルを導入

- 世の中のトレンドとお客さまのニーズを内装カラーやインテリアなどに取り入れた空間デザインを提案
- withコロナ時代に増えた「おうち時間」をリラックスして過ごせる居心地よい空間を提供



『イニシア町田』モデルルーム
【 GRACE style (グレイス・スタイル) 】



『イニシア茨木プレシアコート』モデルルーム
【 MODEST style (モデスト・スタイル) 】



『イニシアラウンジ三田』コンセプトルーム
【 MELLOW style (メロウ・スタイル) 】

■ アクティブシニア向け分譲マンション『イニシアグラン札幌イースト』竣工・入居開始

- 多彩な共用施設やマンション内のコミュニティ形成支援などセカンドライフを楽しむ住まいを提供
- 福井県、福岡県、大分県など複数の市街地再開発事業でのプロジェクトが進捗

INITIA GRAN



『イニシアグラン札幌イースト』外観／カフェラウンジ

■ パッシブデザインを採用した新築一戸建『イニシアフォーラム尾山台』販売開始

- 高台の立地を活かし、風や光を効率的に取り込む配棟・外観デザインを採用
- ゆとりとやすらぎのある住空間と、自然と共生する街並みを創出

INITIA FORUM



『イニシアフォーラム尾山台』外観

■ 暮らしの変化とニーズの多様化に応えるリノベーションマンション「INITIA & Renovation」の展開

- 大人の二世帯に向けたリノベーションマンション『センチュリー中野南台』販売
- さまざまなニーズにこたえ、「すごしかた」という価値基準にこだわった空間づくりを追求

INITIA & Renovation



『センチュリー中野南台』



『グランドメゾン南青山』

■ シェアレジデンス『nears(ニアーズ)川崎』竣工・入居開始

- プライベート空間を維持しながら入居者同士のゆるやかなつながりを生む、新しいタイプの住まいを提案
- 自由な居場所の選択や自分らしい働き方を実現できる多様な空間を提供

SHARE RESIDENCE
nears



『nears川崎』 共用フロア キッチン・ダイニング/居室

■ 中規模の新築オフィス・商業ビルの新ブランド『cross-c bldg. (クロスシービル)』

- 働き方・ライフスタイルの「多様性」と、建物の「機能性」・「快適性」を追求
- 環境に配慮したオフィス空間として『クロスシー東日本橋ビル』が環境省の定める「ZEB Ready」を取得

CROSS - C
building



『クロスシー東日本橋ビル』 エントランス



『クロスシー秋葉原ビル』 外観

■ 職住近接を実現するレンタルオフィス『MID POINT渋谷 神泉』開業

- 新築ビル1棟全体を「MID POINT」として運営
- 吹き抜けや回遊性のあるラウンジ設計などコミュニケーションを促す空間デザイン



『MID POINT渋谷神泉』 外観／1階ラウンジ

■ 共同出資型不動産『セレサージュ目黒イースト』・『セレサージュ目黒ウェスト』 販売開始

- 個人では取得しづらい都心の優良不動産を1,000万円(1口500万円)からの小口で取得できる商品
- 賃貸事業で培ったノウハウを活かし運用期間中の収益性の向上を実現

SELESAGE



『セレサージュ目黒イースト』 対象不動産



『セレサージュ目黒ウェスト』 対象不動産

■ アpartmentホテルの新シリーズ『MIMARU SUITES(ミマルスイート) 京都四条』開業

- 全室2ベッドルーム以上の広い客室で“暮らすような滞在を楽しむ”宿泊体験を提供
- 京都の目利きが集めた暮らしの道具を客室で自由に使える新サービスを提供



『MIMARU SUITES 京都四条』外観／1階ロビー「みまる道具店」

■ 東京・京都・大阪の「MIMARU」で多彩なコンセプトルームやプランを展開

- ライフスタイルショップとコラボレーションしたコンセプトルームでの宿泊体験を提供
- 家族・友人とのパーティーやキッチンでお料理を楽しめるプランなどを用意し多様な過ごし方を提案



AWESOME STORE 監修のコンセプトルーム
（『MIMARU東京 赤坂』他）



出張シェフによる料理提供などのパーティープラン
（『MIMARU大阪 心齋橋WEST』他）

- 「コスモスマア」が携わった施設が「iF DESIGN AWARD2022」を含む複数の賞を受賞
- 「Recruit Kudanshita New Office」では、築60年の全5棟からなる大型ビルを、テクノロジーの活用により働き方の変化にも対応するオフィスへと再生
- 「TOKYO SPORT PLAYGROUND SPORT × ART」では、インクルーシブデザインを取り入れた屋外型スポーツ施設の設計・施工を実施



『Recruit Kudanshita New Office』
株式会社リクルート九段下新オフィス「九段坂上KSビル」リノベーション〈設計(一部)・施工〉



『TOKYO SPORT PLAYGROUND SPORT × ART』
〈設計・施工〉(デザイン監修: ナイジャパングループ合同会社)



「iF DESIGN AWARD 2022」とは1953年からドイツで開催され2022年には57か国の地域から10,000を超える応募があるなど、世界的にも注目されている世界三大デザイン賞のひとつ。

『Recruit Kudanshita New Office』

- 第34回「日経ニューオフィス賞」『ニューオフィス推進賞』
- 『2021年度グッドデザイン賞』
- 第16回「日本ファシリティマネジメント大賞」『優秀FM賞』
- 「DFA Design for Asia Awards 2021」『Merit Award』
- 「Architecture Master Prize」『Honorable Mention賞』
- 「iF DESIGN AWARD2022」(Interior Architecture部門)

『TOKYO SPORT PLAYGROUND SPORT × ART』

- 「Architecture Master Prize」『Honorable Mention賞』
- 「iF DESIGN AWARD2022」(Architecture部門)

【本資料についてのご注意】

本資料は 2022年5月12日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

経済動向・事業環境などの不確定要因により、
実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社コスモスイニシア

経営管理本部 経営企画部門 経営企画部 （高橋 / 藤井）

MAIL : info-ir@ci.cigr.co.jp

TEL : 03-5444-3210



ありがとうございました。

www.daiwahouse.com

www.cigr.co.jp